

特集 人と人がつながる場所 街なか図書館



ありた ゆき
有田 有紀さん(38)
=松橋町=
「色彩の建築展」を開催



おの たけひろ
小野 雄弘さん(79)
=不知火町=
出町で初の個展を開催



つしだ ちえみ
津志田 千恵美さん(68)
=不知火町=
押し花の展覧会や体験会を開催

街なか図書館は、美術館のような華やかさはありませんが、地域の人々の交流の場であり、そこで展示できたのは新鮮で面白かったです。ボランティアの方も、そのままの自分を受け入れ見守ってくださり、自由に表現ができました。ここは、居心地も良く、いつ訪れても待ってくれている人がいる「まちの縁側」のようなところだと思います。春にも濱まちで「身体」をテーマにした展覧会を開く予定です。美術家としてワークショップやパフォーマンスなども行って、子どもから大人まで幅広い年代の人に楽しさを伝えられる表現がいたらと思っています。



▲い草を使った伝統工芸とのコラボ作品などを展示(出町)。



▲タマネギの皮などで染めた小物を展示(濱まち)。草木染の会会員による賛助出品の展示も行われました。



▲退職後14年間で描いた風景画や家族などの人物画を展示しました。



▲個展の来場者一人一人に感謝の気持ちを込めた絵手紙を送っています。



▲押し花の作品と制作中の押し花

展覧会を開催した人にインタビュー

各教室(濱まち)

教室や会議にどうぞ。
学習スペースもあります。
使用料 1時間200円
・折り紙教室「折り鶴の会」
(第2月曜 13時~)
・絵手紙教室
(第1月曜 13時~)
・戦争学習会



ギャラリー

美術館と違って、静かに鑑賞しなくても大丈夫。作者やボランティア、一緒に来た人と作品について語りましょう。絵画や書、押し花、地元の学校とコラボした作品展などが開催されています。ミニコンサートや体験会も。毎月のイベントは「ウキカラ」でも紹介しています。今月は40ページをご覧ください!
展示料金 両館合わせて1週間1000円

子ども広場 水曜15時30分~17時30分

本を読んだり、学習したりする子どもたちだけの特別な時間。



みねもと ゆいか
峯元 優依香さん(11)
しおむら みく
塩村 未来さん(12)
=不知火町=

2人は松橋小の6年生。毎週のように、水曜の子ども広場の時間に来ています。

「ここは落ち着いて居心地がよく、ボランティアさんも優しいです。子どもだけの時間として空けてもらっているのはうれしいです。同じ小学校の友だちでも、街なか図書館に行ったことがない人もいるので、広めたいと思います」

ショップ & カフェ

ボランティアの人や家族、地域の人の手作りの小物や食品などを販売しています。この収益は、図書の購入費などに充てられます。お子さんのグッズもありますよ。コーヒーなどの飲み物も有料で提供しています。



オレンジカフェ

カフェ濱まち 毎月第2水曜 カフェ出町 毎月第4水曜 いずれも午後1時~3時 参加費 200円
「高齢社会を健康で楽しく過ごすために気兼ねなく語り合い、ともに歌い、憩いのひとときを」と、運営ボランティアの福田知子さん(61)=松橋町=の提案で、今年8月から始められました。
「小学校の頃の思い出」など毎回テーマを決めて自己紹介。初めての人同士でも話が弾みます。何十年ぶりに再会し、近況を話すこともあるそうです。地域包括支援センターとの連携も始まっています。

